

開会の挨拶 永田 靖 (大阪大学共創機構社会学共創本部 本部長)

第一部 「大阪大学外国語学部が実践する外国学——言葉とともに」

基調講演 大阪大学外国語学部の外国学～地域への眼差しと言葉の重み 古谷大輔

実践例1 外国語の詩を訳すということ：トルコ文学の場合 宮下 遼

実践例2 インド音楽を聴いてみよう(伝統楽器による実演) 北田 信

第二部 「大阪大学外国語学部がめざす外国学——箕面とともに」

座談会 河合大輔、北田 信、須貝昭子、宮下 遼、藤澤バヤン、古谷大輔

出演者

河合大輔 (公財) 箕面市国際交流協会 事業課長

北田 信 大阪大学大学院言語文化研究科 准教授

須貝昭子 特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお 理事長

宮下 遼 大阪大学大学院言語文化研究科 准教授

藤澤バヤン タブラ奏者

コーディネーター

古谷大輔

大阪大学大学院言語文化研究科 准教授

大阪大学共創機構社会学共創本部21世紀懐徳堂 兼任教員



大阪大学
21世紀
懐徳堂

大阪大学 21世紀懐徳堂シンポジウム 第3回

大阪大学 外国語学部が めざす外国学

言葉とともに、箕面とともに

2018年 **3月1日[木]** 18:30-20:30 箕面市立メイプルホール 小ホール

参加費：無料 定員=50名程度(要申込)

主催：大阪大学 共創機構 社会学共創本部 共催：大阪大学大学院言語文化研究科、大阪大学外国語学部

企画制作：大阪大学 共創機構 社会学共創本部 21世紀懐徳堂

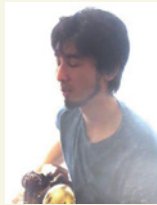
申込み・問合せ先 大阪大学 21世紀懐徳堂 info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp tel: 06-6850-6443(平日10:00-17:00)

大阪大学外国語学部がめざす外国学

言葉とともに、箕面とともに

2021年は、大阪大学外国語学部の前身である大阪外国語学校が設置されてから100周年の節目にあたります。現在箕面市にキャンパスを構える大阪大学外国語学部は、「言語を究めて世界へはばたく」を旗印に掲げた「外国学 foreign studies」の学び場です。そして外国学とは、自らの言葉と思考の枠組みでは理解不能な異文化の情報を誰にでもわかる言葉にして、異文化への理解を必要とする社会の求めに応じてきた、言葉を介して社会に寄り添う学問です。

このシンポジウムは、大阪大学外国語学部と箕面市の皆さんが寄り添いながら、外国語学部と箕面市のみなさんの眼差しが交わるころにある「次の100年に向けて大阪大学がめざす外国学の姿」を確認することをめざして開催します。これまで箕面市で実践されてきた外国学の姿について、そして箕面市と大阪大学外国語学部のこれからについて、大阪大学外国語学部・箕面市双方からの出演者が共に語り合います。



北田 信

大阪大学大学院言語文化研究科 准教授
外国語学部ワールド語専攻教員。子供の頃からシルクロードの文化と音楽に惹かれ、高校3年生であった1989年よりシタール奏者アミット・ロイ氏にインド音楽を師事する。音楽の背景となる現地の文化や文学（詩歌）に興味を持ち、研究者の道に入る。現在は南アジアの様々な地域で伝統芸能の調査をしている。



宮下 遼

大阪大学大学院言語文化研究科 准教授
1981年、東京生まれ。東京外国語大学トルコ語専攻卒業、東京大学大学院総合文化研究科博士課程を経て現在、大阪大学言語文化研究科トルコ語専攻准教授。著書に『多元性の都市イスタンブール：近世オスマン帝国の都市空間と詩人、庶民、異邦人』、『無名亭の夜』。訳書にオルハン・パムク『わたしの名は赤』、『雪』、『無垢の博物館』、『僕の違和感』、ラティフェ・テキン『乳しぼり娘とゴミの丘のおどろき』他。



河合大輔

(公財)箕面市国際交流協会 事業課長
1975年生まれ。京都大学理学部在学中より在日韓国朝鮮人、障がい者などの運動に関わる。卒業後、塾講師、高校講師などを経て、大阪大学言語社会研究科(旧大阪外国語大学)修士課程終了。2008年10月より同協会勤務。地域で暮らす外国人市民やミックスルーツの子どもたちに出会い、その多様性に魅了される。多文化共生の地域づくりに取り組む日々。



須貝 昭子

特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお 理事長
自身の市民活動バックグラウンドは、学生時代からのボランティア活動からPTA、子ども会を経て、子どもの文化とまちづくり関連団体の事務局長として10年間の活動経験をもつ。みのお市民活動センターの管理運営に携わりながら、地域では企業や行政・NPO・大学・市民をつなぐ役割を担いながら、社会課題に取り組む活動を伴走型で応援している。船場周辺のまちづくりにも、市民が集うプラットフォームとして関わっている。



藤澤バヤン

タブラ奏者
関西で活動するタブラ奏者。ある日楽器店で見かけたタブラの音に興味を持ち購入。東京在住のタブラ奏者ディネーシュ・チャンドラ氏よりタブラの手ほどきを受ける。後にペナレス流派のタブラに惹かれ渡印、マ・ブラサード・ミシュラ氏に師事。現在はタブラ奏者として活動を広げながら、定期的にインド芸能や世界の音楽を紹介するイベントを開催している。<http://sakura.2box.jp/bayan/>



古谷大輔

大阪大学大学院言語文化研究科 准教授
大阪大学共創機構社会学創本部21世紀懐徳堂 兼任教員
1971年、茨城県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了後、大阪外国語大学講師、大阪大学世界言語研究センター准教授などを経て現職。この間、スウェーデン王国ルンド大学歴史学部・ウップサーラ大学神学部客員研究員などを歴任。専門は北欧史。共著に『礫岩のようなヨーロッパ』、『スウェーデンを知るための60章』、『原文で読むスウェーデン社会』など。

21世紀懐徳堂シンポジウムとは

21世紀懐徳堂シンポジウムは、大阪大学の社学連携活動をより広く・より深く発信し、未来の社学共創の実現を目指して企画された、21世紀懐徳堂の新しい主催事業です。「大学と社会の窓口」をうたう21世紀懐徳堂は、「ひらく・つたえる・わかちあう」をモットーに、設立以来、他大学・自治体・企業・NPO法人など様々な機関と連携し、大阪大学の研究と社会を繋げるための場を生み出してきました。「現代の懐徳堂」として、市民の皆さまと大阪大学を結ぶ活動をさらに活発に展開し、より良い社会との繋がり方を模索するために、毎回大学をとりまく様々な関係者との対話を通じて、これからの大学の在り方について考えます。

お申込み方法

webフォームまたはファクシミリ、往復ハガキでお申込みください。受付確認をメール/ファクシミリ/ハガキにてお送りしますので、当日にご持参ください。取得した個人情報は、当該イベントに関する連絡等のみで利用いたします。

[webフォームにて申込みの場合]

http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2018/symposium_0301

[ファクシミリ、往復ハガキにて申込みの場合]

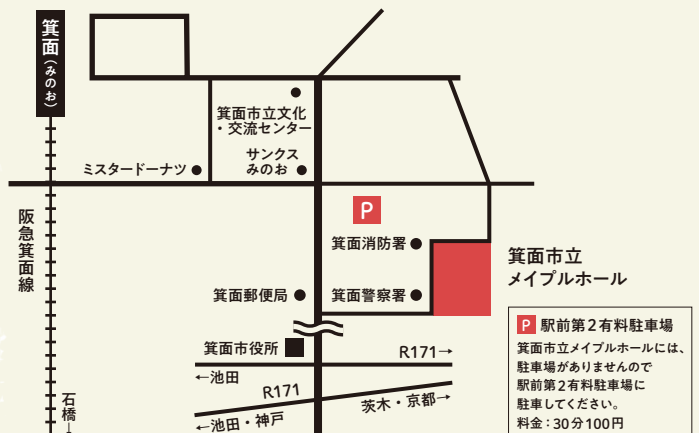
①お名前(ふりがな)、②FAX番号、③電話番号、④年代をご記入の上、タイトルを「21世紀懐徳堂シンポジウム申込み」として下記までお送りください。
FAX 06-6850-6449 (大阪大学21世紀懐徳堂)
往復ハガキ 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13
大阪大学会館1階 大阪大学21世紀懐徳堂 シンポジウム係宛

お問合せ

大阪大学21世紀懐徳堂

e-mail info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp
tel 06-6850-6443 (平日10:00-17:00)

大阪大学は、享保9年(1724年)に大坂商人たちによって創設された私塾「懐徳堂」の精神を戴いています。市民であれば身分に関係なく学ぶことのできたこの懐徳堂は、この点で大阪大学の社学連携活動の精神を先取りしています。これからは21世紀懐徳堂は、現代の懐徳堂として、地域や社会と相互に学び合う場を生み、市民の皆さまと大阪大学とを結ぶ活動を進めて行きたいと考えております。



会場

箕面市立メイプルホール 小ホール

〒562-0001 大阪府箕面市箕面5-11-23 <http://minoh-bunka.com/maple.html>
阪急宝塚線 箕面駅より 徒歩約8分

21世紀懐徳堂 外国学 で